



吹田 薫 議員

超高齢社会に対応した
福祉の充実について

高島市における認知症の方への対応は？

答 地域の見守りや普及啓発に取り組んでいます。

問 各地域の高齢者の生きがいづくりはどのようなことを行っているのか。

答 健康福祉部長

高齢者にとりましては、社会的な役割を持つことが生きがいづくりにつながることから、高齢期の様々な生きがいづくりを推進しています。また、各地域ではサロンや見守り活動などで高齢者自身が活動の支え手としてご活躍されています。それぞれの地域で様々な活動に高齢者が主体的に参画することで、生きがいにつながっていると考えています。

問 サロンがないところや自治会に入っていない高齢者の生きがいづくりは、どのように進めていくのか。

答 健康福祉部長

高齢者の豊富な技術や技能を活かし就業機会を提供するシルバー人材センター、高齢者自身が地域の生活支援サービスの提供者となつて支援が必要な高齢者を支える地区ボランティアセンター、NPO法人等の活動を支援して参ります。

問 今後の高島市における認知症の方への対応について

答 健康福祉部長

高齢者の約3.5人に一人が認知症または発症の可能性があると推定されています。認知症の方やその疑いがある方への相談支援体制を整えるとともに、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう「認知症 みんなの笑顔で支えよう！」を合言葉に、地域の見守りや普及啓発に取り組んでいます。特に認知症高齢者で徘徊の心配がある方につきましては、事前登録制度をご活用いただき、行

方不明になられた時には家族、行政、警察、介護保険事業所などが速やかに情報共有し、防災無線やメール送信によって市民の方に協力をいただき早期発見につながるよう努めています。

また、今年度より医療・介護の専門職による「認知症初期集中支援チーム」を設置し、早期に医療や介護につながるよう支援します。



音楽療法



食事介助